



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2006-2007年度RI会長
ウィリアムB. ボイド



率先しよう
LEAD THE WAY

2006～07年度 第2590地区ガバナー 齊藤 二郎

会長	小池 将夫	副会長	大西 弘文
副会長	清水 勇一	会長エレクト	吉田 隆男
幹事	渡邊 淳	クラブ会報	植田 清司
S A A	鈴木 武	会計	館野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30 PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / kerc@beach.ocn.ne.jp

【クラブテーマ】
明日の為に・一つの心で



2006-07年度 第15号週報NO.1481
2006年(平成18年)10月20日第1481回例会記録10月27日発行

司会 江森 国一 前幹事

点鐘 小池 将夫 会長

ゲスト紹介

ジョン	ネジ	田 鎬鎮 様 (第2590地区 米山学友会 会長)
チョウ	シル	趙 希禄 様 (第2590地区 米山学友会 理事)
シ	キンホウ	施 錦芳 様 (第2590地区 米山学友会 理事)



第2590地区米山奨学委員長の鈴木憲治様が、学友会会報誌「学友浜崎」の出版に際し当クラブ皆様のご協力に対しお礼のご挨拶に訪れました。



ゲストの米山学友会のみなさん

ピジター紹介

横浜東R.C 大川 恒久 君
川崎麻生R.C 鈴木 憲治 君

本日《10月27日》のプログラム

- ◆斉唱 「手に手つないで」
- ◆献立 チキンのロティー きのことソース
- ◆卓話 「職業奉仕委員長会議報告」
西山 潔 職業奉仕委員長

結婚記念日祝

鈴木 武 会員 (10月24日)

誕生日祝

永井 隆俊 会員 (10月21日)



会長報告

①齊藤ガバナーから先般の公式訪問のお礼状がきております。

平成18年10月12日

神奈川東ロータリークラブ
会長 小池 将夫 様
幹事 渡邊 淳様
国際ロータリー第2590地区
ガバナー 齊藤 二郎

拝啓 貴クラブには益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

さて、過日貴クラブ公式訪問をいたしました折には、会長・幹事を始め会員の皆様から心温まる歓迎を頂き、厚く御礼を申し上げます。

会長幹事懇談会におきましては、本年度の詳細な活動方針を伺い、山本ガバナー補佐からのご報告の通り、会長・幹事さんが大変熱心で、親睦活動と奉仕活動の調和の取れた模範的クラブであり、会員増強そしてR財団と米山事業に対しましても深いご理解を頂く等、会員皆様の活気溢れる頼もしいクラブであると感じました。

ウィリアム B. ボイドRI会長の掲げられましたテーマ『率先しよう』の下、本年度も各奉仕活動における素晴らしいご活躍を期待申し上げます。

末筆となりましたが貴クラブの益々のご発展と会員皆様のご健勝をお祈りいたしまして御礼のご挨拶といたします。

敬 具

②当クラブの米山特別寄付累計が 46,525,600 円となり、46 回目の米山功労クラブとなりました。

③富居利貞会員がメジャードナー米山功労者、伊東英紀会員と加藤仁昭がマルチプル米山功労者になりました。

④定例理事会報告

幹事報告

◎例会変更のお知らせ

横浜鶴見西

11月1日(水)⇒移動例会 「職場訪問」

有料老人ホーム「すいとびー新横浜」

11月29日(水)⇒夜間例会

横浜南陵

10月26日(木)⇒27日 移動例会

会場 箱根湯本「河鹿荘」

11月2日(木)⇒定款第5条第1節により休会

◎週報ご惠贈クラブ

川崎R.C

川崎大師R.C

横浜北R.C

ハイライト米山80号

「友・インターネット速報」

委員会報告

飯田昇会員と大西弘文会員に、国際ロータリー日本事務局からマルチプルポールハリスフェロー・ピンが贈呈されました。



出席報告

伊澤 政宏 委員

会員総数	66名	(45名+21)名
出席会員数	46名	(37名+9)名
出席率	82.22%	
ゲスト	3名	ビジター 2名
前回補正後	93.48%	前回々補正後 100%

スマイルボックス

鈴木 武 SAA

田 鎬鎮君・趙 希祿君・施 錦芳君 米山学友会報「浜崎」発行に際し、貴クラブ皆様の広告へのご協力ありがとうございました。これからも米山学友会の活性化に努めて参りたいと思います。

鈴木憲治君 先日の米山学友会の総会に多大な協力をいただきありがとうございました。

大川恒久君 初めて、おじゃまします。

永井隆俊君 ①鈴木米山奨学委員長、田学友会会長他理事の方々お忙しい処ありがとうございます。

②誕生祝ありがとうございます。

富居利貞君 茂木さん昨日車で自宅まで送っていただきありがとうございます。

月山 勇君 古川先生、昨日は記念の絢爛豪華なる花束を有り難うございました。

江森国一君 昨日のテーブルミーティングでは、マスターほか皆様には大変お世話になりました。、河野さん遅くまでありがとうございます。

古川陽太郎君 昨日は脇田さん、横山さん、矢野さんには大変お世話になり、有難う御座居ました。

横山範夫君 昨日の第2・3テーブルミーティング参加の皆様、有り難うございました。

山田正憲君 昨日のテーブルミーティング参加の皆様、お疲れ様でした。脇田さん、横山さんご苦労様でした。

須永久一君 本日例会終了後、1Mキャラバン隊結成式がありますが、結成式終了後、趣味同好会委員の方々は一階ティールームで打合をしたいと存じます。ご出席宜しく願いたします。

横溝 亘君 昨日のテーブルミーティング出席できずすみませんでした。

脇田いすゞ君 昨夜のテーブルミーティングおつかれ様でした。皆様二日酔ではないですか？

上阪哲也君 昨日はテーブルミーティングに出席させて頂き楽しいひと時を過ごすことが出来ました。又、入会祝いの素晴らしい花束を頂戴し感激しております。

茂木知子君 今日の仕事がうまくいくように！

鈴木 武君 ①結婚祝ありがとうございます。

②昨日のテーブルミーティング欠席してすみませんでした。

10月20日	18件	33,000円
本年度累計額		798,500円

卓 話

「米山月間にあたり」

国際ロータリー第2590地区
米山学友委員 矢野 修二 会員



今月は、米山月間に当たる10月であります。日頃、皆様方におかれましては米山に対する深いご理解と応援は多大なものと、私、地区米山委員の一人として、誇りに思っております。実は、私共の2590地区程に多くの条件が整った地区は、それほど多くはありません。その条件とは、地区当クラブの皆様のお力添えが多とすることで個人寄付額全国34地区連続1位を維

持しているという事実であります。もちろん当地区内に大学も数多くあり、又、留学生が多数在学していることも条件の一つであると思いますが、何より皆様からの多大なる寄付が、当地区への奨学生獲得割り当てが多くさせております。そして、このような好条件のもと、奨学生とクラブという両者の交流の多くの機会を得ること自体が、各会員の米山奨学事業に対する理解を深めていく、最も良き方法と考えております。

当2590地区においては、8月24日メモワールソシヤ21にて、本年度クラブ米山奨学委員長会議が開催され、その席上グループ討議がなされました。こうした席上では寄付金の使途についての質問が多数を占めるのが通例ですが、皆様の米山奨学事業に対する深いご理解により、使途金については例年ない質問の少なさでありました。近年、質問で一番多いのはこれまで御世話してきた奨学生13,322名に対する消息で、当地区でも累計567名を御世話頂いております。その内、日本国内に留まっている元奨学生は229名、約40%で日本全国の日本国滞在は28%で当地区内の元奨学生の滞在比は多いほうです。さて、次に申し上げますのは立派になった学友の方々についてであります。ロータリアンになった方が65名で、日本において15名、母国において50名であり、当地区にも2名の元奨学生のロータリアンがいます。

このように米山奨学事業は長年の時間を掛け、素晴らしい奨学生を作り、世界に送り出しております。どうぞ、米山奨学事業をご理解頂きまして、ご尽力頂けますようお願い申し上げます。○米山奨学事業は皆様の寄付によって運営されております。

○米山梅吉（1868～1946）…奉仕の人 日本で学ぶ外国人留学生を支援する。

“何事も人々にしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”
1967年文部省（文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となる。
ビデオ鑑賞「よねやまとの絆」

第2、第3テーブルミーティングが開催されました

日 時：10月19日 午後6時

場 所：割烹 秀友

テーマ：「今年度上期を振り返って」



乾杯のあと、懇親を深めました。



新入会員の**上坂哲也**会員と**茂木知子**会員に花束が贈呈されました。



地区公式文書 4分間情報

24. 職業倫理への着眼

20世紀の初期、アメリカでは、「商売は商売だ」「買い手こそ注意しろ」「競争には情無用」「世間が何だ」と、利益が最優先され、野放しの資本主義でした。ポール・ハリスは、ビジネスの中でお互いを助け、成功するように援助し合うことに努力を傾けました。その後、ロータリアンは、高度の職業上の水準があるなら、これを見つけ、採用し、ビジネスにおいて「ロータリアン」というときは、純銀製品に刻印される“sterling”に匹敵しなければならないと認識するようになってきました。このとき、ロータリーは初めて倫理的商取引（現在の職業奉仕）の重要性に注目したのです。

1908年、アーサー・フレデリック・シェルDONはシカゴRCに入会し、「職業は社会に奉仕する手段である」と他のロータリアンに説得しました。程なく、シカゴRCは、「商取引の方法のための委員会」を設置し、シェルDONが委員長となりました。1910年に最初のロータリー大会がシカゴで開かれた時、大会委員長は、出席者にこう語りました：「私たちは、世界において進んで自己の任務を果たし、公德心を高めたいと願い、職業において高度の道徳的水準を守りたいと思っています」。

大会の閉会時に、シェルDONは、職業倫理の重要性を強調し、腐敗や不正は排除しなければならないことを明らかにし、次のように語りました。「19世紀の商慣習の特徴は、『競争』です。出し抜かれる前に出し抜け、ということです。20世紀に入り、人類は賢くなりました。20世紀の特徴は『協調』です。人間は、英知の光に照らして、正しい行為は報われる。職業は人類の奉仕の科学である。『最もよく仲間に奉仕する者、最も多く報いられる』ということが分かるようになりました」。

そして、1912年にダルースで開催された国際ロータリー・クラブ連合大会で、模範的クラブ定款5か条が採択され、これが

互恵主義からの決別を告げる新しい綱領の基礎となり、そのまま職業奉仕の原則として現在に引き継がれています。次いで、この定款を実行するために「指針」を作成しようということになり、1915年サンフランシスコで開催された第6回国際ロータリー・クラブ連合会年次大会で、「事業のすべての分野に適用すべきロータリー道徳律」が採択されました。



25. 四つのテスト

1930年代の大恐慌期に、第2奉仕部門は重大な転換期を迎えました。ハーバートJ. テーラーが四つのテストを創案したのです。商取引の公正さを測る尺度で、以後、多くのロータリアンがこのテストを活用してきました。

1940年以来、多くのロータリアンが、自分の職業、地域、個人レベルにおける言行の尺度として、四つのテストを使用してきました。職業奉仕にふさわしい言葉と認められていますが、問いかけているだけで、答は出していません。

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

- ・真実かどうか：これは「嘘偽りはないか」、「本当のことか」という意味であり、自分に問いかけています。
- ・みんなに公平か：これは関係するすべての人に公平かどうかということです。ロータリアンの仲間だからとか、特別の関係にある人だからとか、他のことで便宜を計ってもらった人だからとかいって特別に便宜を計ってはならないことを意味します。
- ・好意と友情を深めるか：「取引に愛を込めて」という意味は、このことです。取引で関係者間に信用という精神的絆ができ、好意と友情が生まれることは素晴らしいことでしょう。
- ・みんなのためになるかどうか：職業倫理の目標は、みんなのためになることです。その取引に関係した人たちすべてが等しく幸せになることから始まり、それが社会全体のためになるということに繋がるのです。



次回《11月3日》の卓話予定

国民の祭りに付 休会